

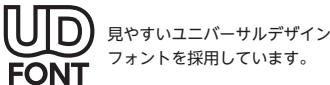
株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料） （郵送先）〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
基準日	定時株主総会… 3月31日 期末配当……… 3月31日 中間配当……… 9月30日	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 [公告掲載ウェブサイトアドレス] https://www.seiko-co.com/	同 連 絡 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（通話料無料）
単元株式数	100株		

- **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について**
株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申し出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- **「配当金計算書」について**
配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

●ホームページのご案内●

最新のIR情報につきましては、
当社のホームページ「IR情報」を
ご参照ください。
<https://www.seiko-co.com/>



証券コード：6286

第122期
株主通信
2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

あなたのそばに 静甲グループ

毎日の暮らしからものづくりの現場まで、あなたとつながる静甲です



INDEX

静甲グループの事業領域	02
ごあいさつ	03
財務ハイライト	04
事業別の概況	05

連結財務諸表	07
トピックス	09
会社概要／株式の状況	10

静甲グループの事業領域

Business Area

産業機械事業

包装機械等の製造販売、修理・改造



電機機器事業

FA機器・空調機器・冷凍機器等電機機器の販売及び空調設備設置工事



不動産等賃貸事業

駐車場経営及び貸自動車事業等

冷間鍛造事業

冷間鍛造製品の製造販売



車両関係事業

車両及びその関連商品の販売



グループ会社

- 日本機械商事株式会社（連結子会社）
包装機械の販売
- 静岡スバル自動車株式会社（連結子会社）
スバル車の販売・修理
- 株式会社エコノス・ジャパン（連結子会社）
殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
- 静岡自動車株式会社（連結子会社）
車両レンタル・リース業、ガレージ業
- 株式会社共和テック（連結子会社）
一般産業機械の設計・製作、受託設計
- 静岡バイオート株式会社（連結子会社）
ボルボ車の販売・修理
- 株式会社PUREST（連結子会社）
ボルシェ車の販売・修理
- 株式会社Cool the Earth（連結子会社）
BYD車の販売・修理
- 株式会社ビルメンテ
- エススタッフサービス株式会社

社長就任のご挨拶

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。
2024年6月26日付で取締役社長に就任いたしました鈴木孝典でございます。
当社は2024年5月18日に創業85周年を迎え、歴史ある会社の社長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いがしております。さらなる成長を実現し、創業100周年に向けて持続的発展をめざします。
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

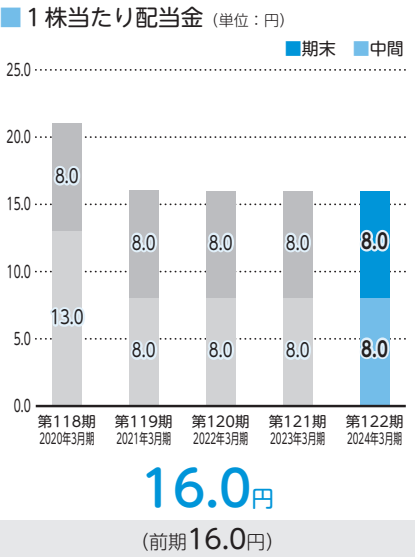
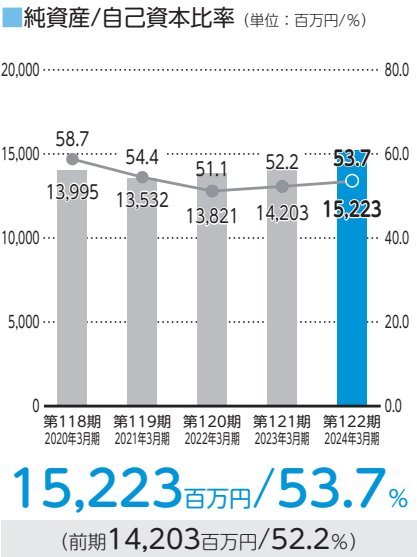
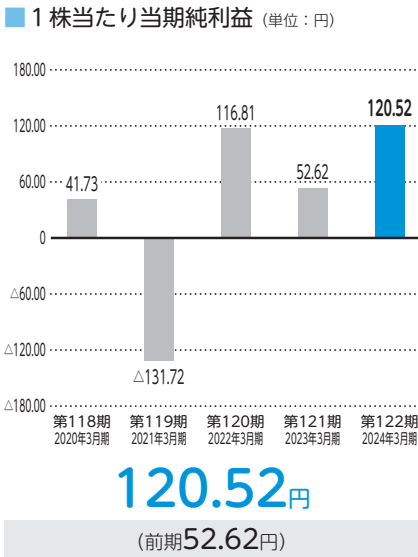
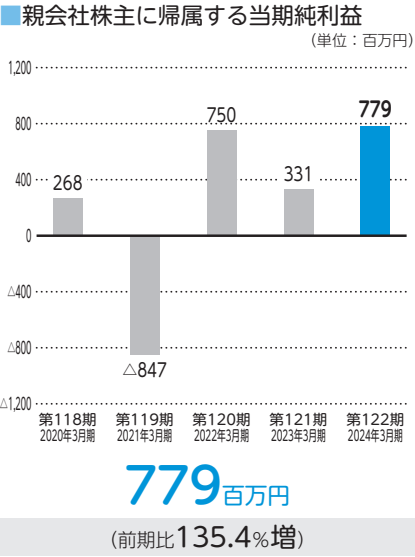
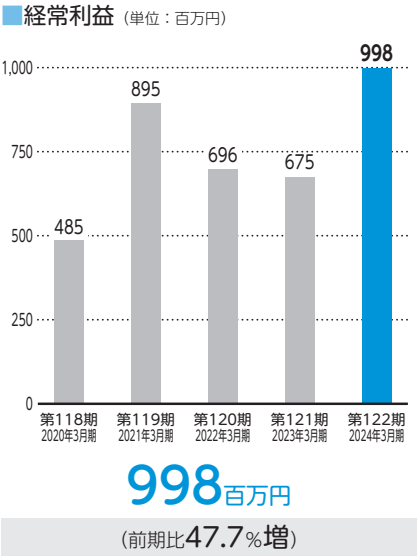
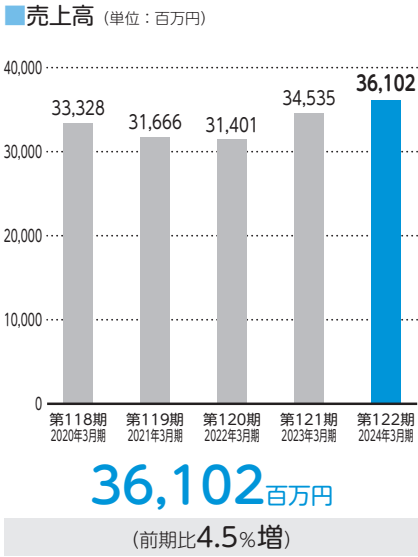
取締役社長 鈴木孝典

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善し、個人消費やインバウンド需要が持ち直したことによって、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、急激な円安による物価上昇、ウクライナ・パレスチナによる政情不安の影響や中国及びE U経済の減速など海外景気の下振れが懸念され、引き続き不透明な状況が続いております。
当連結会計年度の当社グループの売上高は、電機機器事業では自動車関連の自動機を中心に販売が堅調に推移しました。また、車両関係事業も前年同期の実績を上回りました。産業機械事業は前年同期並みの実績となりました。一方、冷間鍛造事業は主要納入先の在庫調整の影響を受け、前年同期の実績を下回りました。
これらの結果、売上高は、前年同期比4.5%増の361億2百万円となりました。
利益面では、電機機器事業及び産業機械事業での原価改善に加え、産業機械事業での改造工事や保守メンテナンスの堅調な推移により、経常利益は前年同期比47.7%増の9億9千8百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比135.4%増の7億7千9百万円となりました。

今後の見通しについて

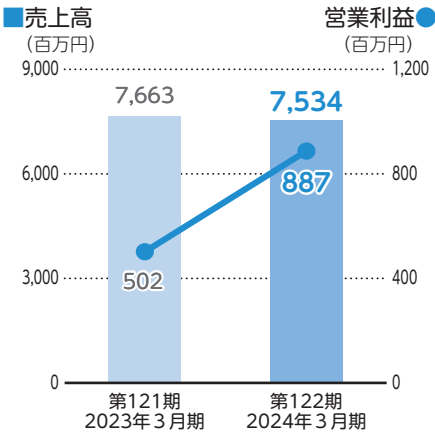
当社グループの次期の見通しにつきましては、産業機械事業では、大型の液体充填ライン、小型・中型機共に堅調に推移し、当連結会計年度の実績並みとなる見込みであります。
電機機器事業では、主力のF A関連機器は半導体不足に伴う先行発注により客先の在庫に過剰感が出ており、売上が減少すると予想されますが、自動車関連の自動機が堅調であるため、売上は当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。また、冷熱機器、設備機器、空調設備工事も堅調に推移する見込みであります。これらの結果、電機機器事業全体では当連結会計年度の実績並みとなる見込みであります。
冷間鍛造事業では、電動工具部品、自動車部品、産業機械部品において、主要取引先の在庫調整の緩和、増産が期待されるため、当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。
車両関係事業では、スバル新車販売において当連結会計年度に発生したO E M車種の出荷停止の影響が緩和され、販売台数の増加が期待されます。輸入車は当連結会計年度より開始したB Y D車両の販売及び静岡県西部地区のボルボ中古車販売の増加により、当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。
以上によりまして、2025年3月期における当社グループの売上高は375億円、営業利益は8億8千万円、経常利益は9億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6億2千万円となる見通しであります。



産業機械事業

売上高
7,534百万円
(前期比1.7%減)

営業利益
887百万円
(前期比76.6%増)



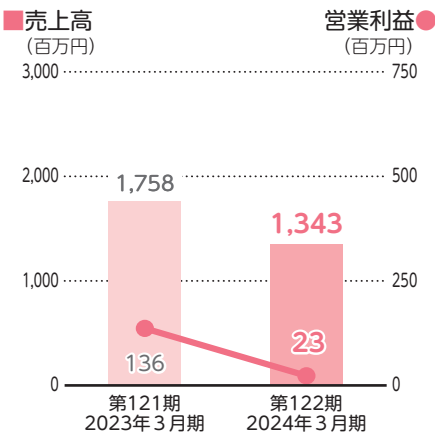
概況

包装機械は、大型の液体充填ラインや液体充填巻締機が前年同期並みに推移し、改造工事や保守メンテナンス及び部品販売は前年同期の実績を上回りました。一方、検査装置などの産業機械は前年同期の実績を下回りました。

冷間鍛造事業

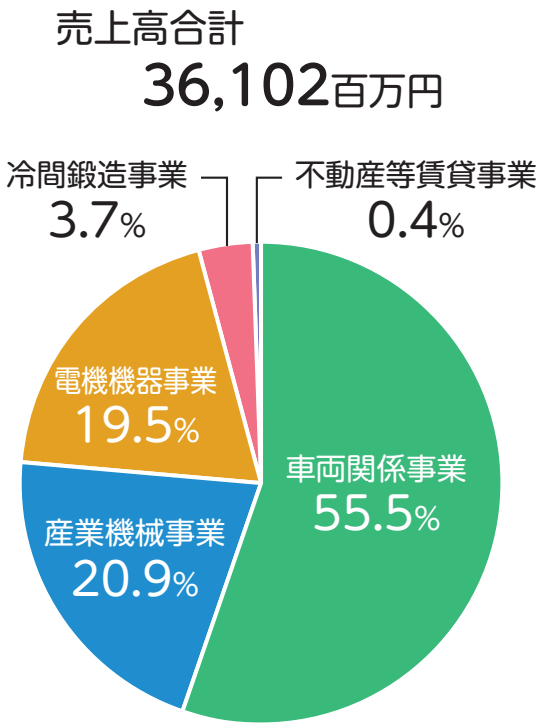
売上高
1,343百万円
(前期比23.6%減)

営業利益
23百万円
(前期比82.7%減)



概況

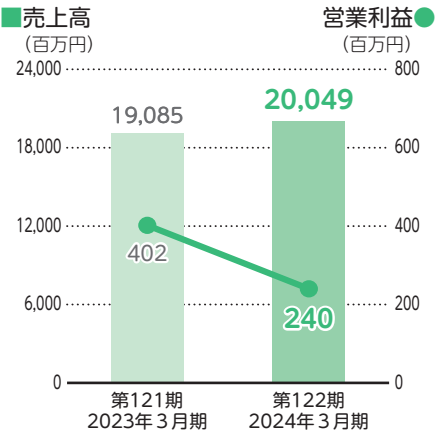
電動工具部品は、主要納入先の在庫調整が緩和され、前年同期の実績を上回りました。一方、自動車部品の一部では中国向けの部品が減産となりました。また、産業機械部品においては、主要納入先の大幅な減産や在庫調整により、受注が低調に推移したため、前年同期の実績を大きく下回りました。



車両関係事業

売上高
20,049百万円
(前期比5.1%増)

営業利益
240百万円
(前期比40.4%減)



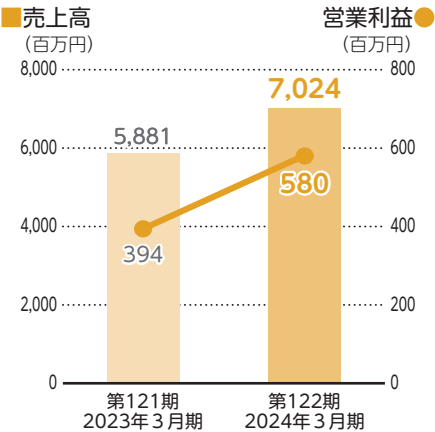
概況

スバル新車販売は、新型車クロストレックが牽引し、登録車の販売台数は堅調に推移したものの、OEM車種の出荷停止の影響を受けたことにより新車販売台数が減少し、前年同期の実績を下回りました。一方、BYD車両の販売を開始した輸入車販売はボルシェ車販売を主体として堅調に推移しており、前年同期の実績を上回りました。中古車販売及びサービスの売上も前年同期の実績を上回りました。

電機機器事業

売上高
7,024百万円
(前期比19.4%増)

営業利益
580百万円
(前期比47.3%増)



概況

主力のFA関連機器では、静岡県内製造業の需要が堅調に推移したことに加え、自動車関連の大型自動機の販売もあり、前年同期の実績を大きく上回りました。空調周辺部材は商圏拡大により西日本を中心に販売が伸長し、空調機器、設備機器、冷熱機器も堅調に推移したことにより前年同期の実績を上回りました。

不動産等賃貸事業

売上高
150百万円 (前期比2.9%増)

営業利益
53百万円 (前期比24.7%減)

連結貸借対照表

	当 期 2024年3月31日現在	前 期 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	17,041,286	16,711,707
現金及び預金	8,481,451	8,257,068
受取手形、売掛金及び契約資産	4,127,908	4,075,325
電子記録債権	1,095,230	592,845
たな卸資産	2,742,027	3,164,269
その他	627,695	677,677
貸倒引当金	△ 33,029	△ 55,481
固定資産	11,322,280	10,487,574
有形固定資産	7,767,762	7,867,071
建物及び構築物	3,221,324	3,332,784
土地	3,060,680	3,043,980
その他	1,485,758	1,490,307
無形固定資産	208,053	268,913
投資その他の資産	3,346,464	2,351,589
投資有価証券	3,034,517	1,993,757
その他	316,647	365,754
貸倒引当金	△ 4,700	△ 7,924
資産合計	28,363,566	27,199,281

	(単位：千円)	
	当 期 2024年3月31日現在	前 期 2023年3月31日現在
負債の部		
流動負債	11,022,985	10,617,574
支払手形及び買掛金	3,132,977	3,581,616
その他	7,890,008	7,035,958
固定負債	2,117,554	2,378,185
負債合計	13,140,539	12,995,759
純資産の部		
株主資本	14,098,830	13,422,604
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,159,341	3,159,341
利益剰余金	10,845,277	10,168,983
自己株式	△ 5,788	△ 5,720
その他の包括利益累計額	1,124,196	780,917
その他有価証券評価差額金	1,124,196	780,917
純資産合計	15,223,026	14,203,521
負債及び純資産合計	28,363,566	27,199,281

連結損益計算書

	(単位：千円)	
	当 期 2023年4月 1日～ 2024年3月31日	前 期 2022年4月 1日～ 2023年3月31日
売上高	36,102,826	34,535,011
売上原価	28,378,641	27,473,069
販売費及び一般管理費	6,841,413	6,513,477
営業利益	882,772	548,463
営業外収益	144,652	154,072
営業外費用	29,009	26,774
経常利益	998,414	675,761
特別利益	132,258	127,642
特別損失	118,665	186,950
税金等調整前当期純利益	1,012,007	616,453
法人税、住民税及び事業税	364,845	318,301
法人税等調整額	△ 132,689	△ 33,190
当期純利益	779,851	331,342
親会社株主に帰属する当期純利益	779,851	331,342

連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	当 期 2023年4月 1日～ 2024年3月31日	前 期 2022年4月 1日～ 2023年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,676,927	790,452
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,204,570	△ 1,214,171
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 253,792	1,164,265
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	218,564	740,546
現金及び現金同等物の 期首残高	8,257,068	7,516,521
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	5,819	—
現金及び現金同等物の 期末残高	8,481,451	8,257,068

●ホームページのご案内●

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

<https://www.seiko-co.com/>



JAPAN PACK Awards2023 優秀賞受賞

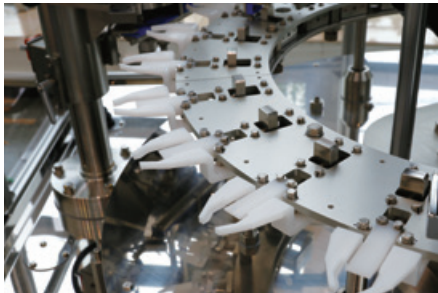
新規開発機「ネック搬送式BTW（充填巻締機）」が、その技術的進歩性が認められて、JAPAN PACK Awards2023 優秀賞を受賞しました。

2023年10月に国内最大規模の包装機械展示会である JAPAN PACK 2023 が開催され、当社グループからは、“人手の代わりにちょ〜どいい！”をテーマに、生産現場で深刻化する人手不足に焦点を当て、省人化・省力化のソリューション提案の展示を行い、多くの商談を獲得しました。

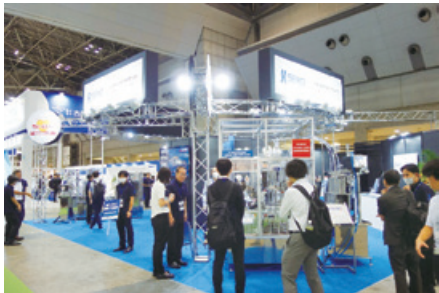
そのなかでも、JAPAN PACK Awards2023 優秀賞を受賞した新規開発機「ネック搬送式BTW（充填巻締機）」は、品種変更時の型換時間短縮や型替が容易な点など省力化を目的として開発した機械で、来場者の多くの方々に興味をもってご覧いただきました。



ネック搬送式BTW（充填巻締機）



新規開発のネック搬送機構（特許出願中）



静甲グループブース

東南アジア市場での事業基盤の確立（ジャカルタ駐在員事務所）

今後も経済成長が期待されるインドネシアを拠点に、海外事業の基盤を構築し、東南アジア市場での販売拡大を目指すため、“ジャカルタ駐在員事務所”を連結子会社である日本機械商事株式会社が開設しました。

液体充填機や包装機械のアフターフォロー強化、並びに同社のマーケティング機能とエンジニアリング機能を活かした製品・ソリューション提案、現地ニーズの調査に取り組み、柔軟かつきめ細やかな対応で目まぐるしく変化する市場とともに成長し、静甲ブランドの拡充を推し進めてまいります。



日本機械商事(株)駐在員事務所が入るジャカルタ・アクサタワー

会社概要

(2024年3月31日現在)

社名	静甲株式会社 (SEIKO CORPORATION)
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
設立	1939年（昭和14年）5月18日
資本金	1億円
従業員数	409名（個別）875名（連結）

役員

(2024年6月26日現在)

代表取締役 取締役会長	鈴木 恵子
取締役副会長	鈴木 浩之
代表取締役 取締役社長	鈴木 孝典
取締役	鈴木 康之
取締役	山下 一弘
取締役	吉川 範幸
取締役	湯子 直樹
社外取締役	杉本 基
常勤監査役	櫻井 嘉夫
社外監査役	山口 貴史
社外監査役	音成 秀樹
社外監査役	野々山 茂

株式の状況

(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,200,000株
発行済株式総数	6,466,681株 （自己株式16,642株を除く）
株主数	1,024名

大株主（上位10名）

株主名	持株数 （株）	持株比率 （%）
鈴与ホールディングス株式会社	1,832,260	28.33
鈴木 恵子	887,370	13.72
有限会社ティ・エム・ケイ	617,600	9.55
静甲従業員持株会	480,281	7.43
株式会社静岡銀行	311,500	4.82
株式会社清水銀行	309,290	4.78
清水食品株式会社	204,000	3.15
鈴与自動車運送株式会社	104,000	1.61
清水運送株式会社	80,000	1.24
DBS BANK LTD.	78,800	1.22

（注）持株比率は自己株式（16,642株）を控除して計算しております。